

11.11.15
425号

この惨状を訴ふ



大島製鋼所争議は二日の官憲大衝突と共に収監者六十三名拘留者十三名を出した
 斯の如き極度の壓迫はその家族に對して大なる苦痛を與へた機械労働組合聯合會が
 大島労働會館に遣旅慰問相談部を設けてその結末に對して努力するや妻や子供は夫
 の安否を愁ひつゝ集つた争議團が一ヶ月以上に亘る苦勞と續いて収監の爲めその遺
 族には米を買ふ金も味噌を買ふ金もなかつた併るに官憲はこの慘ましい遺族に對し
 て種々な宣傳を以つて相談部に集ることを妨害した……何故かわからない……また
 折角妻や子供が相談部にその餓を訴ゆる時官憲はヒヤカシ的な言葉を以つてその遺
 族に侮辱を與へたために折角設けた相談部も官憲の爲蹂躪され様とした尙その家族
 の間には最も悲惨な事實が穎々々々突發しつゝあるのだ！

争議團の阿部健吉君は子供が四人あるおまけに妻の妹は大病の爲家財道具の大半は
 入質し奮闘をつけつゝてゐたが突發的な収監の爲後に残つた妻はごうすることも出来
 ず今は絶對の窮地に泣いてゐるのだ
 岩佐延二郎君は妻と四人の子供の生計を肩つてゐる身に加ふるに突然弟死亡の爲そ
 の妻と四人の子供を引受け争議の爲奮闘をしてゐたが今は家財のすべて賣拂つて家
 族十人共唯死を待つばかりだ

須藤喜一郎君は裏長屋に妻と子供二人をやうやく養つてゐたが収監に加ふるに妻が
 妊娠の爲今はごうすることもならず唯死をまつてゐるばかりだ

この外見ても悲惨な程の状態はその遺族の中に澤山あるのだ夫が収監の留守妻は子
 供を投げ捨てて姿をかくしたりまた家財道具のすべてを賣拂つて生活を續けてゐた
 り同じ人間でありながら犬や猫の様な生活である我等は人間としてこの悲惨なる事
 實に對して黙まつてはゐられない
 我れは資本家にその責を正す前に……官憲にその責を問ふ前に……この哀れな遺族
 を救わねはならない
 先づこれが人間としての急務だ

東京市外大島町二ノ卅一(假本部)
機械労働組合聯合會
 電話本辰六八〇六番労働會館内
 (天神橋際益子印行)